

地域づくり型生涯学習講座コーディネート事業

「令和7年度ふるさとづくり運動岐阜県大会」にて ヤングケアラーに関する講話を実施



ヤングケアラーの子どもの理解と支援

講 師 岐阜大学教育学部准教授 板倉 憲政 氏

日 時 令和7年10月27日（月） 13：15～14：15

場 所 ぎふメディアコスモス みんなのホール

対 象 各地区生活学校関係者 79名

内 容

- ・学校現場における子どもの事例
- ・ヤングケアラーの要因、特徴、葛藤
- ・「ヤングケラの実態に関する調査研究」のポイント
- ・安心できる関係性づくりと子ども時代の肯定的体験の必要性

参加者の感想

- ・ヤングケアラーの子どもを探し出すのではなく、子どもたちから様々な話を聞ける場をつくることが、子どもの実態把握のための一歩として大切だと感じた。
- ・地域の子ども食堂の取組は、ヤングケアラーもしくはそれに準ずる子どもが参加できるような居場所となるため、これからも継続していきたい。

主催者の感想（コーディネート事業を利用して）

- ・ヤングケアラーは家庭内のプライベートな問題でもあり対応が難しいため、生活学校の立場からどのような支援ができるのか模索しながら取り組んでいく。研修会で学んだことを各地域にもち帰り、それぞれの活動に繋げたい。